

## 1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 令和2年12月10日

## 【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4670900184
法人名	有限会社 めぐみ福祉会
事業所名	グループホーム 大口めぐみの里
所在地	鹿児島県伊佐市大口曾木480番地 (電話) 0995-25-2323
自己評価作成日	令和2年10月25日

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	<a href="http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/">http://www.wam.go.jp/content/wamnet/pcpub/top/</a>
-------------	---

## 【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	NPO法人自立支援センター福祉サービス評価機構
所在地	鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号
訪問調査日	令和2年11月25日

## 【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

1. 家庭的な環境と地域との交流を大切にしながら、やすらぎと憩いの場を提供します。
2. 個人の尊厳を失うことなく自立を手助けします。
3. 満足と生きがいを持って頂ける様努めます。
4. 職員一人一人が認知症ケアについて日々学びの姿勢を忘れず、研修にも積極的に参加し、ケアに活かしています。
5. 毎朝朝礼で介護理念を唱和し、理念に基づいた介護に取り組んでいます。
6. 利用者様の居室、共用の場所、園内すべての空間の清掃、環境整備に努めています。

## 【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

- ・当事業所は、同一法人の住宅型有料老人ホームの近くにあり、有料老人ホームでの調理・配食や合同の行事等で法人内の協力体制が築かれており、防災に関する意識が高い。
- ・新型コロナウイルス感染症予防の為、地域行事は清掃活動以外は自粛し、事業所の地域住民を招待しての行事は行わず、地域との交流が困難な状況である。現在は、運営推進会議も書面開催となっているが、今後は、委員へ書類を持参して直接意見交換を行うことを計画している。
- ・家族との面会制限や外出自粛が継続しているが、窓越し面会や電話・手紙での交流、こまめな状況報告により家族との関係が途切れないように取り組んだり、感染予防策を講じた上での散歩やドライブの実施で気分転換を図る等、可能な限りこれまで同様の生活が送れるよう積極的に取り組んでいる。
- ・職員も行動制限等でストレスの多い中、勤務体制の変更で負担軽減を図るなど働きやすい就業環境の整備に取り組んでいる。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	職員全体で作成した介護理念を毎朝朝礼で唱和しており、理念に沿った介護が実践できるように心がけている。	理念を毎朝唱和しユニット毎にその日の目標を設定しケアに当たっている。日々の業務の中で振り返りながら、理念に沿ったケアの実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地元の自治会へ加入し、職員が地域の清掃作業などに参加している。本年度はコロナウイルスの影響のため、敬老会や避難訓練、運動会に地域の方々を招待することが出来なかった。	自治会に加入し、今年度はコロナ感染症予防のため、地域の清掃活動のみの参加となっている。住民からの野菜の差し入れがあったり、散歩時に住民とあいさつをする等の交流を行っている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。	本年度はコロナウイルスの影響のため、面会制限をかけており、事業所に訪問される方がほとんどいない。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	昨年度までは二か月に一度、自治会や市役所職員、警察、家族などに参加を頂き開催しており、意見を頂いてきたが、本年度は職員等で話し合った議事録を送付という形で運営推進会議を行っている。	2ヶ月毎に職員のための運営推進会議を実施し、委員へは資料等を送付していたが、今後は、直接資料を持参して意見交換を行ない、サービス向上に活かせるように計画している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。	運営推進会議や認定調査、指定更新時など制度上分からない事がある時は担当者へ相談、報告を行っている。	市の担当者とは、日頃からこまめに相談や報告を行い、連携を図っている。市主催の研修会等には参加している。今年度は、医療連携会議が1回開催され、出席し情報を得ている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	身体拘束を行わないと施設全体で決めており、研修では日々のケアで身体拘束になりうる事例などを検討したりしている。玄関や居室のドアは施錠せず、自由に入出りできるようにしている。	指針があり、委員会を3ヶ月毎に、研修会を年3～4回実施している。不適切な言葉等は管理者から注意を促したり、スピーチロックについての意識づけを図っている。日中の玄関は施錠せず、職員の見配りと連携で利用者が自由に生活できるよう支援している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	ミーティングや勉強会で日々のケアを振り返りながら、虐待に発展する可能性を検討し、職員同士が虐待に対しての高い意識を持っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。	事業所内で権利擁護に関する研修を行い、制度について学ぶ機会を設けている。実際に対応が必要な方がいる場合は関係者で協議しその方の権利が守られるように配慮している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		<p>○契約に関する説明と納得</p> <p>契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。</p>	<p>契約時に疑問点や不安に思っている事、施設への要望を聞きながら、説明をして納得を頂いてから契約を行っている。</p>		
10	6	<p>○運営に関する利用者、家族等意見の反映</p> <p>利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。</p>	<p>利用者様やご家族との日々の会話の中で意見や要望を聞き取り、運営に反映させている。</p>	<p>利用者には、日常の会話の中から要望等を聞いている。家族には、毎月のコメント入りの写真添付のお便りを送付している。来所時や電話で要望等を聞き、家族から「衣替えの時に利用者の肌着を購入して欲しい」との依頼にも個々に対応している。</p>	
11	7	<p>○運営に関する職員意見の反映</p> <p>代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。</p>	<p>月に一回開催されているミーティングへ代表者や管理者が出席し、職員から業務や行事、備品の購入など意見に耳を傾けて運営に反映させている。</p>	<p>ユニット毎に月1回のミーティングを実施し、代表者・管理者は職員の意見等を聞いている。備品購入等の要望や職員の勤務体制についての意見を運営に反映している。個別相談は管理者が受けて対応している。</p>	
12		<p>○就業環境の整備</p> <p>代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。</p>	<p>希望休制度を設けており、職員が家庭と仕事を両立できるように配慮している。資格取得時には雇用契約を見直し、資格に応じた昇給を行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>研修は主にミーティング開催時に行い学びを深めている。また介護職員個人の知識や技量に合わせて、個人的に指導しレベルアップを図っている。</p>		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>本年度はコロナウイルスの影響のため、研修などの機会が少なく、職員間の交流が図れていない。管理者が2か月に一度行われる同業者との連絡会に参加し、情報交換などを行っている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		<p>○初期に築く本人との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている</p>	見学時や入所時に相談や要望、不安な事などを聞き取りしており、本人様が安心してサービスを利用できる様配慮している。		
16		<p>○初期に築く家族等との信頼関係</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	見学時や入所時にご家族がグループホームでどのように生活してほしいのか希望や要望を聞き取り、ご家族も安心して頂ける様配慮している。		
17		<p>○初期対応の見極めと支援</p> <p>サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	本人様やご家族とのコミュニケーションを大切にして、会話や日常生活の中からその方にとって優先度の高いケアを見極めてサービスを提供している。		
18		<p>○本人と共に過ごし支え合う関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	職員と利用者様がゆっくりと過ごす時間があり、お互いに得意な事や出来そうなことを探して取り組むようにしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係  職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	現在面会の制限があるため、以前のように直接的に会話することはできないが、電話や手紙のやり取りで利用者様の状態を報告したり、行事の写真を送ったりして暮らしぶりを伝え、意見を頂いている。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援  本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	これまでの体調をよく知る主治医への通院や往診を継続できるように調整している。面会制限のため手紙や電話での交流を支援している。	コロナ感染症予防のため、面会は県内居住の家族のみ窓越しで実施している。電話や手紙のやり取りを支援し、事業所からも家族に毎月状況報告や写真を送付して、関係が途切れないように努めている。	
21		○利用者同士の関係の支援  利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	気の合う方同士の座席の配置や、利用者同士の人間関係を職員が把握し、トラブルを未然に防ぎ、安心した共同生活が送れるように支援している。		
22		○関係を断ち切らない取り組み  サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	入院のため退所される時や他の施設に移られた後も施設のイベントに招待したりしている。ご利用者様の退所後も家族の方が自宅で摂れた野菜を持ってきてくれたりすることがある。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	本人様の気持ちや考え方を会話や生活の中からくみ取れるように、職員全員で情報を共有しており、望む暮らしの実現のため工夫している。	日常の会話で、本人の思いを把握するように努めている。意思疎通が困難な場合は、本人の反応が出やすいような働きかけを工夫したり、これまでのかかわりの中から思い等を推測し支援している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	本人様やご家族からこれまでの生活歴、生活環境、趣味、嗜好を聞き取りながらグループホームでの生活に取り入れられるように支援している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	毎日の習慣や楽しみにしている事、体調の変化や食事摂取量などを記録し、異常の早期発見に努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	本人様とご家族の思いや、してほしい事などを汲み取りながら介護計画に反映できる様にミーティング等で職員間で情報を共有し介護計画を作る際に活かしている。	本人や家族の希望等は、事前に把握し、職員で話し合っ介護計画を作成している。モニタリングは3ヶ月毎に実施し、6ヶ月から1年毎に計画を見直している。状況変化等に応じて見直し、現状に即した計画にしている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個人別の記録に、その日に行ったこと、バイタルサイン、話された事などを記録し、職員間で情報が共有できるようにしている。その記録を基に介護計画や活動を計画している。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	お墓参りや自宅、田んぼなどを見たいというリクエストなどがありドライブを兼ねて行ったりしている。本人様のニーズにできるだけこたえられるよう配慮している。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	例年では避難訓練に近隣の方に参加してもらったり、地元の方の演奏慰問に来て頂いたりしているが、本年度は面会制限等があり、実施が出来ていない状況である。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医は本人様やご家族の希望により決定している。希望がある場合は協力医や、往診の出来る病院に依頼し、必要な医療が受けられるように配慮している。	契約時に本人・家族の希望するかかりつけ医の希望を聞き支援している。受診は家族対応を基本としているが、現在は、コロナ感染症予防のため職員で対応し、結果を家族に報告している。看護職員の配置や往診で適切な医療を支援している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
31		<p>○看護職員との協働</p> <p>看護職員は、日中の関わりの中でとれた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p>	<p>一日二回午前と午後に定期的なバイタルサインの測定を行っており、職員は異常を発見した際は速やかに看護師へ報告し、必要な場合は受診したり、適切な処置が受けられるように努めている。</p>		
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>かかりつけ医とは受診時、往診時に状態報告や一日の過ごし方などを報告しており、入院時にはその方の生活歴や既往歴、性格、嗜好などの情報を提供し適切な治療につなげられるよう協力している。</p>		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>入所時に重度化や見取りについて説明しており、本人様やご家族の意向が分かる様にしている。体調の変化に合わせて主治医から意見をもらい、可能な限りグループホームでの生活を継続できる様支援している。</p>	<p>契約時に重度化の場合の対応について選択肢も含めて説明し、同意書ももらっている。状況変化時に主治医の意見を受け意向を再確認し、往診や訪問看護も含めたチームで支援に取り組んでいる。看取り介護の事例がある。</p>	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	<p>急変時に対応が出来るよう、研修や対応マニュアルを定期的に確認し備えている。</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>災害を想定して毎年火災、水害訓練を各二回実施している。必要な水や食料物品を備蓄している。また福祉車両の操作方法の研修等も行っている。令和2年9月の台風の際には近隣の小学校に実際に避難をした。</p>	<p>年2回昼夜想定での避難訓練を実施している。今年度はコロナ感染症予防のため、消防署の立ち合い及び近隣住民の参加は無く、業者と職員のみで実施したが、自動通報装置に住民4～5名の登録の協力がある。台風の際、他との接触を避けて小学校のオープンスペースへの避難を受け入れてもらった。非常時の食料は3日分の水・米・缶詰・レトルト食品等と防災用品を準備している。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	職員は入所者の方は人生の先輩であるという尊敬の念を持ち、本人様の気持ちを大切にしながら、プライバシーに配慮した対応を行っている。	研修を実施し、さん付けでの呼びかけや一人ひとりに合わせた言葉遣いに努めている。排泄失敗時も羞恥心に配慮し、優しささり気ない声掛けをしている。申送り時はイニシャルを使用しプライバシーを確保している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	意思決定が困難な方に対しては、こちらから選択肢をいくつか用意してその中から決定して頂くなどの配慮を行っている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	個人個人で趣味や嗜好が違うため、それぞれのやりたいことや興味のある事を把握し、ご自分のペースで行えるよう支援している。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	お化粧品や整髪料など身だしなみを整えるための日用品を家族や職員が購入し、使用してもらっている。また1~2か月に一度訪問散髪の協力をもらい身だしなみを整えている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	<p>○食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	<p>食事を楽しんで頂ける様、個人の嗜好や好き嫌いなどを把握し、食べやすい形態や量で提供している。また季節の食材や料理等の提供もしており、喜んで頂いている。</p>	<p>食事は有料老人ホームから一括して調理した物が運ばれてくる。味噌汁やミキサー食・きざみ・とろみ食はホームで作って提供している。米・卵・野菜・味噌・キムチ・梅干し等、自家製である。利用者も一緒にテーブル拭きやおしぼりの準備をしている。自家製の匂いの物を使って調理し、誕生会の特別メニューや行事食も提供している。</p>	
41		<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>食事摂取量や水分摂取量を毎食ごとにチェックしており、栄養バランスのとれた献立を提供している。</p>		
42		<p>○口腔内の清潔保持</p> <p>口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている</p>	<p>食後は必ず口腔ケアを行うように利用者様に声掛けを行っており、ご自分で行えない方には口腔ケアシートや舌ブラシを使用して口腔内を清潔に保てるよう支援している。</p>		
43	16	<p>○排泄の自立支援</p> <p>排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている</p>	<p>職員は個人ごとの排泄パターンを把握しており、タイミングをみてトイレの声掛けや誘導を行っている。</p>	<p>チェック表でパターンを把握し、日中はトイレでの排泄を基本に支援している。排泄用品は個々に応じて検討し、こまめな声掛け誘導で排泄の失敗やパット等の使用を減らせるように、取り組んでいる。夜間は、ポータブルトイレが多く、オムツを使用する利用者もいる。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	腸蠕動運動を促すために水分摂取や体操、散歩などを一日のスケジュールに取り入れている。ご本人の希望により、牛乳やヤクルトを飲み便秘の解消につなげている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	入浴は週2~3回実施しており、利用者の希望に応じて回数を増やすなどしている。	週2回の入浴を午前中に実施しており、希望に応じて毎日でも入浴できる。毎朝陰洗を実施し、体調により清拭も行っている。好みで入浴剤や柚子湯を楽しんでいる。入浴を嫌がる場合は、タイミングを見て声掛けしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	夜間に質の高い睡眠を確保できる様、日中に日光浴や体操、散歩などの活動を行っている。午睡などは利用者様の生活パターンから		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	利用者様ごとに服薬リストを作り、職員が薬を確認しやすい様になっている。便秘や発熱等臨時薬を使用する場合は主治医や看護職員へ指示を仰ぐようにしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	トイレで使用するちり紙をたたんで頂いたり、洗濯物をたたんで頂いたり、出来る事や得意な事を生活の中に取り入れて役割を持って頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。	本年度はコロナ感染予防のため人ごみの多い場所への外出は避けているが、利用者様のリクエストに応じて園庭の散歩やドライブなど外出の機会を設けている。	天気の良い日は事業所周辺の散歩をしている。帰宅願望の利用者の気分転換を兼ねて自宅や畑にドライブしたり、希望でコスモス・紅葉を車窓から見物し、近所のイルミネーション見物も計画し、できるだけ外出できるように支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	個人的にお金を所持されている方もおり、孫や曾孫さんが来られた時にお小遣いをあげたり、パンの移動販売が来た時に購入されたりする方もいるが、本年度は面会制限などがあるためお金を使用する機会は少ない。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している	ご本人から希望があり、切手や便せんを購入したりして家族や友人に手紙を出せるように支援している。また電話等も要望があれば自由に使えるようになっている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	玄関には鉢やプランターで花を植え飾っており、利用者の憩いスペースとなっている。また臭いのもととなるトイレは、1日3回ほど掃除をしており清潔に保たれている。夏場などは日差しを防ぐためにすだれやグリーンカーテンを設置して過ごしやすい環境を整えている。	ホールは明るく採光も良く掃除が行き届き清潔である。玄関の戸を開けて換気に努め、空気清浄機やエアコンを使用し適度な環境に調節している。作品や飾り物で、季節を味わえるように工夫し、利用者が、居心地の良い環境でくつろげるように配慮している。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>共用スペースにはテレビやソファが設置してあり、ウィルスを除去する空気清浄器を設置してある。食卓がありご自分の席が決まっており、ゆっくりくつろいだり思い思いに過ごしている。</p>		
54	20	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室には自宅で使用していたイスや時計、仏壇などを持ち込んでおり、慣れ親しんだものを使い続けられるよう支援している。</p>	<p>居室には、ベッド・タンス・洗面台・エアコンがあり、利用者が使い慣れたテーブルやイス・ハンガーラック・加湿器・健康器具・仏壇・敷物・時計・化粧道具を持ち込んで、これまでと同じような環境の部屋作りを工夫している。</p>	
55		<p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p>	<p>居室の場所がわかるよう、大きく名札を貼りだしたり、人形を目印にしたりして分かりやすくしている。</p>		

## V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)		1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
		○	3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1 ほぼ全ての家族と
			2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
			2 数日に1回程度ある
			3 たまに
		○	4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)		1 ほぼ全ての職員が
		○	2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない